

令和2年度

瀬谷さくら小の改革

～学校生活アンケートをもとに～



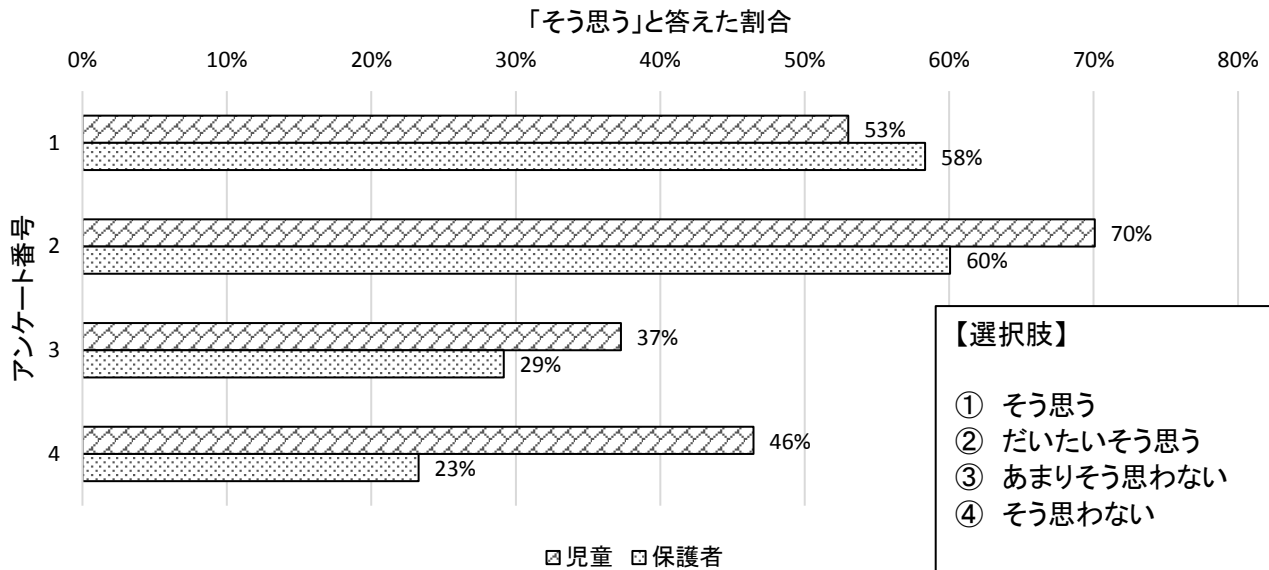
令和3年3月18日

横浜市立瀬谷さくら小学校

【アンケート実施】
令和2年12月

【回答数と回答率】
(児童数)保護者 289 <<74%>> 児童 381 <<98%>>

学校生活アンケート(令和2年度)



児童	アンケート番号	質問事項	割合 (%)
	1	学校が楽しいですか。	53
	2	みんなで何かをするのは、楽しいですか。	70
	3	授業にすすんで取り組んでいますか。	37
	4	授業がよくわかりますか。	46

保護者	アンケート番号	質問事項	割合 (%)
	1	学校が楽しそうである。	58
	2	みんなで活動することを楽しんでいる。	60
	3	授業を楽しみにしている。	29
	4	授業の内容が理解できている。	23

～ 「そう思う」に焦点を合わせる理由 ～

本校では、「居場所がづくり」と「絆づくり」を感じられる集団づくりをめざしています。アンケートに「そう思う」と回答する児童を増やすことは、誰もが居心地のよい学校に近づけるのではないかと考え、職員みんなで追究して学校づくりをしていくこととしました。

また、児童・保護者回答のずれを見える化することで、話し合いの視点が絞られ、工夫の必要性が生まれます。そのずれはなぜ生じるのか、どのような状況をさしているのかなどを話し合うことで、授業改善、教育課程の改善など、来年度の学校づくりのための職員の働きかけの視点が見えてくるのではないかと考えています。

今年度は、学校だより2月号の巻頭言にもあったように、このデータをもとに「さくら会議」を開き、職員全員で話し合いました。話し合った結果は次の通りです。

学校教育目標「自分大すき 友だち大すき このまち大すき さくらの子」の具現化に向けて、来年の3月までに子どもたちに言ってもらいたい言葉を具体的に考えました。ご家庭でも共有していただければ嬉しいです。

自分大すき

- ・「〇〇がやりたいな。」
- ・「できることがいっぱいあるよ。」
- ・「やってみようかな。」
- ・「やりたいな。」

友だち大すき

- ・「〇〇さんすごい。自分も負けずに頑張る。」
- ・「早く学校行きたい。」
- ・「みんなとやると／話すと／いると／楽しい。」

このまち大すき

- ・「〇〇さんに会ったよ。」
- ・「〇〇さんを知ってるよ。」
- ・「まちに出て何かしたい。」

～ アンケートの結果から、今年度すでに改善したこと ～

今年度も、アンケートで保護者の方からたくさんのご意見をいただきました。ありがとうございます。ご意見の中から子どもたちのためにすぐにでも改善できることはないかと考え、実行しました。

- 2階の検定のステップのプリント置き場の雰囲気をもくしました。
- 地域の方や学校で会った保護者の方にもあいさつができるように、改めて児童に話をしました。
- 漢字・計算検定について、検定の在り方を検討しています。
- 階段のほこりがなくなるように、掃除の仕方を改善しました。

～ アンケートの考察と来年度の取組 ～

アンケート番号1 「学校が楽しい」

保護者と児童ともに50～60%が「そう思う」と回答しています。2人に1人は学校が楽しいと満足していることがわかります。今年度は感染症拡大防止対策の中での学校生活ということもあり、子どもたちが学校に安心して来られることを第一に学校づくりを進めてきました。その結果としてのこの数値を真摯に受け止め、次年度以降はさらに多くの児童や保護者が「そう思う」と回答していただけるように、工夫を考えて実践してまいります。その実践の一つとして、来年度4月から「昼休み」の導入を予定しています。

アンケート番号2 「みんなで活動するのが楽しい」

児童の70%は「そう思う」と回答していることから、集団で活動することの楽しさを感じる子どもが多いことがわかります。今年、感染防止対策をとっても心をつなげる方法を見つけました。来年も誰もが「楽しい」と思えるような活動の工夫・支援を進めてまいります。

アンケート番号3 「授業にすすんで取り組む・授業が楽しみ」

「授業をすすんで取り組んでいる」と回答した児童が全体のおよそ1/3ということがわかりました。「すすんで」とは、子どものどのような状態をさすのかを話し合い、まずは学習準備を整えてるところから始めることにしました。保護者の皆様におかれましては、授業に必要な用具等の準備の声かけをよろしくお願い致します。

アンケート番号4 「授業がわかる」

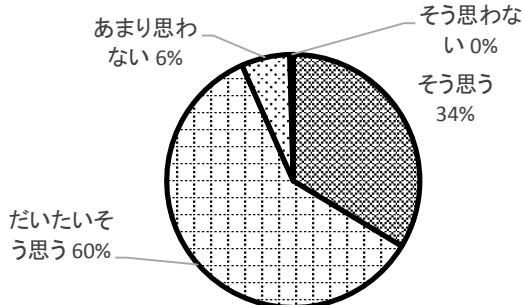
児童と保護者の認識に23%のずれがありました。本年度は保護者の方の参観の機会がほとんどなく、ご家庭の会話だけでは伝わらないことも多かったかもしれません。来年度は感染防止対策をした上で、参観の機会を確保したり、情報発信を工夫したりしていく予定です。また、「さくらタイム」の改善、教室のユニバーサルデザイン化、朝のスキルタイムの内容や検定の見直し、「国際教室」の設置等により、安全・安心で自己発揮できる学習環境を整えていきたいと考えています。

学校と保護者のよりよいパートナーシップの構築をめざして

【令和2年度のアンケート実施】
令和2年12月

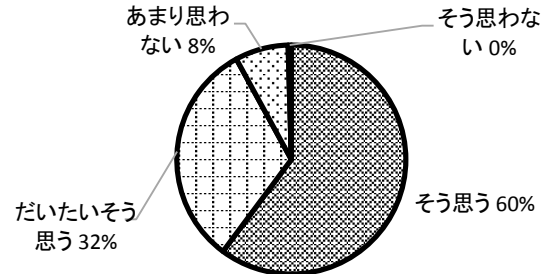
【回答数と回答率】
家庭数の保護者 226 (76%)

学校の感染拡大防止策は安心できた。



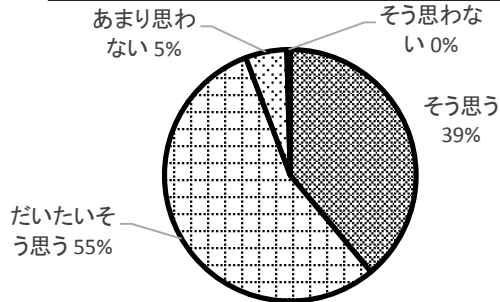
感染拡大防止策として、「きみがすき」の合言葉のもとに子どもが自分で感染防止策をとれるように声かけや指導を進めてきました。その他に、みんなが触れる蛇口や手すりなどを毎日消毒しました。保護者の皆様にも安心をしていただけたようでよかったです。引き続き感染防止策を行っていきます。

遠足・体験学習・修学旅行の内容変更について支持できた。



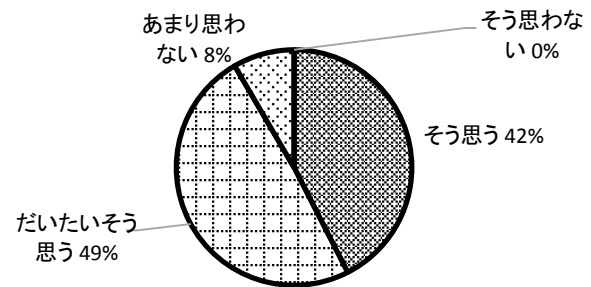
子どもたちの安心と安全を第一に考えた結果、全学年、日帰りとなりました。宿泊ができなくても満足してもらえる内容にと計画したことが、多くの保護者の方に支持していただけたようです。「あまり支持できない」という声も、次年度の参考にさせていただきます。

学校から発信された情報は充分だった。



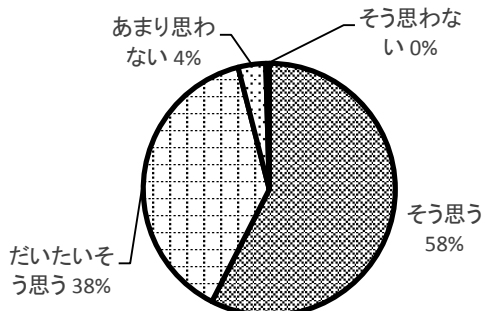
今年度は、これまでのプリントでのお知らせ以外にメール配信や学校のHPでの発信も多く行ってきました。多くの方にご理解いただけているようです。情報を得ることが安心につながると考え、今後も様々な形で学校からの情報を発信していく予定です。

学校だよりや学年だよりをよく読んでいる。



毎月発行する学校だよりと学年だよりを91%の方々によく読んでいただいていることがわかりました。学校からの連絡の他に、子どもたちの学習や生活の様子も内容に盛り込んでいます。今後さらに「読みたい」「待ち遠しい」と思っただけのおたよりになるよう、工夫して作成していきたいと考えております。

お子さんと学校や友達の話をしている。



多くの方がお子さんと学校や友達の話をご家庭でなさっていることがわかりました。子どもは人に話をすることで自分の気持ちに気付いたり、新たな考えが浮かんだりすることがあります。また、日々の出来事を話すことで心が落ち着くのは、子どもも大人も同じではないでしょうか。

瀬谷さくら小の子どもたちが素直で元気であるのは、ご家庭でたくさんお話をしてくださっているおかげだと思います。